

あなたはおどろきなあなた



「世界一あたたかい人生相談」
『ビッグイシュー日本版』販売者/枝元なほみ著
ビッグイシュー日本159セ
篠崎ほか所蔵

レシピと語りでほんわか

「ビッグイシュー」とは、ホームレスが販売することにより、彼らの自立を支援する目的でつくられた雑誌のことです。この本ではビッグイシュー販売者たちが、男女を問わず様々な人の相談に答えます。彼らのほのぼのとした語り口は心を、併せて紹介される「悩みに効くレシピ」は身体を、じんわりポカポカとさせてくれる本です。

湯船でホッカホカ



「ザ・東京銭湯」
町田忍著
戒光祥出版
383マ
篠崎ほか所蔵

寒いときはゆつくり湯船に浸かって、体を温めるのが一番。家のお風呂もよいですが、たまには気分を変えて銭湯なんていかがですか？ 銭湯では入浴はもちろんですが、富士山のタイル絵や庭園などがあり、目で見ても楽しむことができます。今年の冬は本書を持って、レッツ銭湯巡り！

光のある場所

「おれが居てもいい場所、認めてくれる それがあれば人は生きてゆける」



「青空の卵」
坂木司著
創元推理文庫
BFサ
篠崎所蔵

「卵の緒」
瀬尾まいこ著
新潮文庫
BFセ
篠崎所蔵

「卵の緒」
じいちゃんとはあちゃんの不審な態度から、自分が捨て子なのかな、と疑ってしまった主人公・育夫くん。親子の絆であるへその緒を見せてくれるよう母の君子さんに頼みますが、「あなたはその殻から生まれてきたのよ」と、とぼけられます。

とぼけた会話のなかにも優しさと愛情はたっぷり。血の繋がりがよりも、もっと確かなもの。をあなたかく教えてくれる君子さんは、育夫くんにとって心をほんわかさせてくれる大きな存在でしょう。



「青空の卵」

過去のショックな出来事から家族や他人に絶望し、引きこもりになつてしまった鳥井と、彼を支える善意の塊のような男・坂木の謎解きと成長の物語です。辛い目にあつている人をまっすぐに想う涙もろい坂木のおかげで、連作集のどの短篇もあつたかい気持ちになれること間違いなし！ですが、よく言えばお互いを思いやつていけるが、悪く言えば依存しあつている2人。成長するために相手を思いやりつつ一歩ずつ前に踏み出してゆきます。鳥井は再び羽ばたく事ができるのか、まだ物語は始まったばかりです。

つながる

「私たちは時空を越えて誰かとつながっているのです」



「ポプラの秋」
湯本香樹実著
新潮文庫
BFユ
篠崎ほか所蔵

「夏への扉」
ロバート・A・ハインライン著
小尾英佐訳
早川書房
J933ハ
篠崎ほか所蔵

「夏への扉」

主人公のダンは、様々なことに絶望し(最愛の雄猫ピートとも離れ離れになつてしまします)、冷凍睡眠により現代(1970年)から2000年にトリップします。しかし彼はピートの行方とあることを確かめるために、過去に戻ろうとします。すべての可能性にかける勇気があれば運命は変えられることを教えてくれます。さすがハインライン。今回新訳版をご紹介しましたが、旧訳版とぜひ読み比べて下さい。旧訳のスピード感と新訳の読みやすさ。あなたはどちらがお好きですか？

「ポプラの秋」

7歳の千秋は、夫を亡くし失意の母とポプラの木の立つアパートに引っ越ししてしまいます。「死んだ人への手紙を届けてあげる」という大家のお婆あさんに、死んだ父への手紙を託すことで少しずつ癒されていく千秋。18年後そのお婆あさんのお葬式にアパートを訪ねると、懐かしい隣人たちやお婆あさんの思いに触れ、千秋は再び癒されます。湯本マジックに泣けます。



篠崎図書館で働くスタッフがほとんど個人的趣味で選んだおすすめ本を紹介します。今号は、Mさんが選んだ時代小説です。

スタッフのセクション！ 第15回

「いっしん虎徹」 山本兼一著
文藝春秋 請求記号:Fヤ 所蔵館:篠崎ほか

虎徹。刀の名である。切れ味の鋭いことで有名で、石灯籠を切ったという逸話も残っているほど強い名刀だ。人気のある刀で、江戸幕府大老井伊直弼もこれを所有していた。また、新選組局長近藤勇が江戸の養父らに宛てた書状に、「(略)永倉の刀は折れ、沖田の刀はぼうし折れ、藤堂の刀は刃切れさゝらの如く(略)下拙の刀は虎徹故に候哉無事に御座候」というものがある。池田屋事件の際、他の者の刀は折れたり曲がったりしたが、自分の刀は虎徹だったので無事だったという話で、虎徹の力強さが伺える。

刀泥棒と疑われ、親の敵と間違われ、権力闘争にも巻き込まれる。興里の周辺は物騒で忙しない。だが興里が考えていることといえば、良い鉄のこと、切れる刀を作ること、病の妻女のことばかりである。天下一の刀を目指し、命がけで鉄を打つ。その興里の強く熱い情熱に圧倒される。何度も挫折し、打ちのめされ、それでも鉄を打つ。打たずにはいられない、それが興里の生き様なのだ。

鉄の湧く音、炎の熱さ、そして一振りの刀の美しさ。興里の志と共に感じてほしい。

なお、「図説日本刀大全」(学研・756ス・篠崎ほか所蔵)にはカラーで虎徹の写真が載っている。ぜひご覧あれ。

*近藤勇の虎徹は贋作であるという説もあります。

そのメロディーに魅せられて

「荘村清志デビュー40周年、ロドリゴ没後10年、アランフェス作曲70周年の記念企画」という記念碑的CDです。

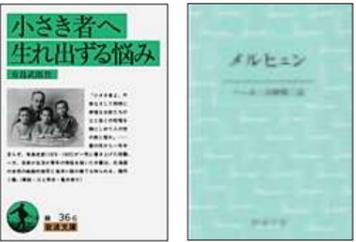
荘村清志はスペインギターの大巨匠イエペスに認められ、以来現在まで日本のクラシックギター界を引っ張ってきました。そんな彼も還暦を迎え、

CD「アランフェス協奏曲／荘村清志(GT)」
請求記号:C5 シ07982 篠崎ほか所蔵

初のスペイン録音で臨んだこの曲は、作曲家ロドリゴの代名詞的作品として、20世紀を代表するギター協奏曲です。美しいギターの調べには、彼が初めての子を失った悲しみやスペインへの想いが込められています。心打たれること必至です。

親子

「親思う心にまざる親心 吉田松陰「辞世の句」」



「小さき者へ」
「小さき者へ・生れ出ざる悩み」所収)
有島武郎著
岩波文庫
BFア
篠崎ほか所蔵

「アウグスト」
「メルヒェン」所収)
ヘッセ著
新潮文庫
B943.7へ
中央ほか所蔵

「アウグスト」

不幸な身の上の母が一人息子のために願ったこと、それは「みんながお前を愛さずにはられないように」だった。すると不思議な老人によつてその願いはかなえられ、アウグストは誰からも愛される人間となつたのだ。

しかし、青年になるにつれ、愛されることだけでは心が満たされず、精神的に荒んできてしまう。挙句の果てに自殺まで考えるのだが、そこへあの不思議な老人が現れ、何か一つ願いをかなえてあげようと言った。そのとき、彼が望んだ願いとは…。

「小さき者へ」

妻が亡くなつてから1年あまり経った大正6年12月7日の朝、著者は3人の息子たちにむけて一つの短篇を書き始める。子どもたちが生まれた時のこと、母の死の時のこと、そして、いかに生きていくかということ…。

「私たちの愛はお前たちを暖め、励まし、人生の可能性をお前たちの心に味覚せずにはおかない」そう思いながら、書き進められたこの作品は、深夜2時に書き終わった。短いながら、親の愛にこころあたたためられる短編です。



カラッと晴れていても風が冷たく、寒い冬…。あたりまえのことですが、寒さに弱い方には、つらい季節です。こんなときこそ本でこころからだを、ほんわかさせましょう！